



大分県議会議員 2022年 冬号
県民クラブ会報「県民ひろば」別府市版

原田たかし 会報

教育・福祉・労働

子どもたちが「生まれてきてよかった」、
高齢者の方々が「長生きしてよかった」と
思える社会を実現するために。

大分県議会議員 原田 孝司

発行責任者：大分県議会・県民クラブ 原田孝司

連絡先：別府市荘園町3組の2 原田たかし事務所 TEL・FAX 0977(25)0011 E-Mail harada@ctb.ne.jp

2021年大分県議会第4回定例会行われる 原田、一般質問に登壇

広瀬知事「感染拡大防止対策と経済活動の回復、災害に強い強靱な県土づくり」

皆様方におかれましては健やかに新年をお迎えのことと存じます。

さて、11月24日(水)から12月10日(金)にかけて、2021年大分県議会第4回定例会を開催。

提案された本年度一般会計補正額は455億1,139万円で、既決予算と合わせた累計は7,801億9,451万円となります。

国の補正を受け入れ、国土強靱化対策に267億円。保育士・介護職の方々の処遇改善としての経費を助成するため30億円。プレミアム付き商品券の発行事業に当たる市町村に補助として24億円。3回目の新型コロナワクチン接種の体制強化として10億円を計上。その他、観光需要喚起

のための事業費、地域公共交通の運行継続を目的に、バス・タクシーの台数に応じて維持管理費の助成などが提案され最終日に可決しました。

私も12月2日(木)に一般質問に登壇しました。
(詳細は2・3面に掲載)



「第3次大分県特別支援教育推進計画」の変更方針

南石垣支援学校は別府羽室台高校跡地に移転、別府支援学校本校を存続へ方針変更

建て替える予定だった南石垣支援学校は敷地が狭く、建て替えても運動場の基準を満たさないことから、十分な広さがある運動場や体育館を備えている別府市野田の別府羽室台高校（2016年度末に閉校）跡地へ移すとの方針変更になりました。

なお、移転時期は未定とのこと。移転先は高台にありますから、通学バスなど児童生徒の通学方法の確保は引き続き重要です。

また、当初の計画では、別府支援学校本校を廃止して、近くにある分校の鶴見校を肢体不自由児対象の学校に、石垣原校を病弱児対象の学校に編成する案でしたが、大分県教育委員会は廃止を検討していた別府支援学校本校を存続させる方針に変更。

別府支援学校本校の病弱児童生徒数が18年度の46人から20年度は70人に急増していることをその理由としています。



写真は、南石垣支援学校(左)、別府支援学校【本校】(右)

折り鶴に込めた願い

原田孝司のシンボルマークは平和を象徴する折り鶴です。
背景には、教育・福祉・労働を表現する虹がかかっています。